

「五感でつづる物語」 体験教室 「物語の樹」 づくり編



＜講師：本木洋子さん＞

童話作家。絵本『よみがえれ、えりもの森』は「第50回・青少年読書感想文全国コンクール課題図書」に。ラクダに乗って一カ月砂漠を旅したり、モンゴルの草原を馬で駆けたり。タイでは象使いのトレーニングをうけ、アマチュア象使いの資格をとりました。「うごく童話作家」といわれています。

ミサゴになってとんでみよう！ 想像して 創造しよう

ところ 水俣市公民館分館2階和室

とき 7月31日（木） 13:30～15:30

＜参加できる人＞

水俣市内の小学3～6年生
限定15名

＜参加費＞

無 料

＜ないよう＞

「そうそう」してみよう！
空をとぶ鳥
大きなつばさを持った
とつても目のいい鳥
ミサゴになってみよう
高い空からはなにが見えるかな
物語をつくってみよう！

＜持ってくるもの＞

水 筒・タオル
えんぴつ・消しゴム

＜申込＞申込書に必要事項を記入のうえ7月23日(水)までに市立図書館に提出してください

【お問い合わせ先】 水俣市立図書館 TEL0966 (63) 8401 FAX0966 (84) 9119

＜ 申 込 書 ＞

希望教室	【7/31】創作童話ワークショップ「五感でつづる物語」体験教室～「物語の樹」づくり編～			
氏名		性別		生年月日(学年)
住所			連絡先	

ものがたり き
—物語の樹をつくろう！—

ものがたり いっぽん き
物語は一本の樹。

たね め ものがたり はじ
種から芽がでて、さあ物語の始まり！

は かお ものがたり はってん
葉っぱが顔をだすと、物語はどんどん発展。

みき ものがたり ちゅうしん
幹は、物語の中心。

おお き かんせい
大きな樹になって、完成です。

「もし、わたしがキツネだったら……………」

「もし、わたしがさかな魚だったら……………」

「もし、わたしがさい500歳のクスノキだったら……………」

「もし、わたしがちきゅう地球だったら……………」

どれでもいい、さかなキツネや魚、ちきゅうクスノキ、地球になって

ものがたり物語をつづってみよう。